



4月号

ステパノだより

No.286

新しい年度を迎えて

理事長 森田 利光

教会暦では今まさに「受難聖週」、イエスキ
マが十字架に架かられたことを覚える時です。
最近私は教会で大齋講話を聴きました。話し
てくださったのは二十年ほど前に、ステパノで
聖書を教えておられた司祭さんでした。

先生はイエスキマが生まれ育ったイスラエ
ルに聖書の研究をなさるために留学し、帰国後
ステパノで三年間ほど聖書の先生をしてくだ
さっていました。先生の講話で特に印象に残っ
たことの一つは、イエスキマは十字架上で聖書
のことばを思い起こしておられたのでないか、
という推測でした。イエスキマは旧約聖書をお
読みになっていましたので、きっと詩篇の二十
二編を思い起こしていらしたのではないかと
おっしゃいました。「わが神、わが神、なぜわた
しをお見捨てになるのですか。」で始まる嘆き、
悲しみの詩篇です。

大齋節が終わるとよるこびの復活日です。今
年は三月三十一日がイースターです。ステパノ
では新学期にイースター礼拝が行われます。み
んなで主イエスキマのご復活を祝い、喜びのと
きを過ごしましょう。

新しい年度の始まり、今年も聖ステパノ学園
の上に神さまの豊かな御恵みが与えられます
ように、そして児童生徒一人ひとりに健康が
与えられますようにお祈りいたします。

『最良のものを与え続けなさい』

校長 佐藤 紀明

新年度の抱負

事務長 佐藤 雅美

綺麗にすること

小学校教務副主任 赤田 祐章

人は不合理、非論理、利己的です。
気にすることなく、人を愛しなさい。
あなたが善を行うと、利己的な目的でそれをしたと言われるでしょう。
気にすることなく、善を行いなさい。
目的を達しようとするとき、
邪魔立てする人に出会うでしょう。
気にすることなく、やり遂げなさい。
善い行いをして、
おそらく次の日には忘れ去られるでしょう。
気にすることなくし続けなさい。
あなたの正直さと誠実さが、
あなたを傷つけるでしょう。
気にすることなく正直で
誠実であり続けなさい。
あなたが作り上げたものが壊されるでしょう。
気にすることなく作り続けなさい。
助けた相手から、
恩知らずの仕打ちを受けるでしょう。
気にすることなく助け続けなさい。
あなたの中の最良のものを、
世に与え続けなさい。
けり落とされるかもしれません。
それでも気にすることなく、
最良のものを与え続けなさい。(マザー・テレサ)
最良のものを与え続ける一年としたいです。



この時期は、新たな気持ちで迎える時期でもあり、ステパノ学園の森でも鳥たちのさえずりがいちだんと美しくなり、桜の木には虫が豊富になり、鳥たちにも大人気な桜の花が咲くのが楽しみな時期でもあります。
学園の森の中の木々たちがこれから暖かくなるにつれて実をつけます。実りには、その過程がとても大切だと感じています。
冬の寒かった風の中で咲き誇った花々が、やがてどんな実をつけるのか今から楽しみでもありません。
子どもたちには、この自然豊かな森の環境の中で、十年後、二十年後の社会で、「ステパノ学園の森の環境が素晴らしいな」と実感できるように成長してもらいたいなと思っています。
今年度は今一度、四季折々のステパノ学園の森の良さを見つめ直していければと思っています。
今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

ステパノ学園が大切にしていることの一つに、毎日の掃除があります。お昼休みの後には、教室・廊下・外廊下など割り振られた場所を綺麗に掃き清めます。小学校五・六年生になれば、当番制で毎朝の週番を行います。
掃除をすることは、心を綺麗にすることです。一心に活動すれば、集中力がつきます。仲間と協力すれば、助け合う力が養われます。自ら進んで行うことでやりがいが生まれ、綺麗になった結果を見て、達成感を得ます。
ただ人は弱い心を持っているので、「手を抜いてしまおう」「誰かがやるからいいじゃないか」「遊んでいる方が楽しいよ」など、悪魔が誘ってきます。一人で悪魔に対抗するのは難しいことです。しかし、いつも寄り添ってくださる神様と共に生きることによって、強い心を自分自身で育て、仕事ができる人、他人から信頼される人になって欲しいと願っています。
―手のひらに欺きがあれば貧乏になる。
勤勉な人の手は富をもたらす。
夏のうちに集めるのは成功をもたらす子。
刈り入れ時に眠るのは恥をもたらす子。―
(箴言 第十章四〜五節)
私がお手本になれるように、今よりもっと率先して、掃除をしていきます。

教諭 飯田 裕美

先日、副担を務めさせて頂いた中三の子どもたちを涙で見送りました。そして四月から、新たに中三となる子どもたちの副担を再び務めさせて頂きます。

昨年度は、保護者の皆さまや卒業生を招いた多くの行事が戻ってきました。コロナ禍の四年の歳月で変わってしまったことも多くありますが、昨年度の中学三年生たちからのバトンは、今年度の中学三年生たちに多く受け継がれたことと思います。

昨年度は、「後輩たちに君たちの背中を見せなさい。」「伝説を作ろう。」「このセリフを中三の子どもたちによく話していました。それは今年度も継続させて頂こうと思っております。

ステパノ学園の最高学年としてプレッシャーに耐えられないこともあるかもしれませんが、彼らが持っている力を全て出し尽くし、一人でも多くの後輩たちに「こんな先輩になりたい。」と思ってもらえるように、またこの最後の一年が彼らにとつて後悔のない一年になって欲しいと願っております。

懸命に何かに取り組むステパノっ子たちの顔は本当に素晴らしいものです。そんな多くの感動を中三が中心となって多くの人に届け、新たなステパノ伝説が残せるようサポートして行きたいと思っております。

教諭 石川 瑠一

また春がやってきました。あたたかな風が別れと出会いを運び、新しい環境を彩ります。昨年は初めての担任を務めさせて頂き、子どもたちに負けず劣らずの成長ができた一年だったように思います。二年生のみんなをはじめ、保護者の方々にも大変お世話になりました。とても素敵な日々を過ごさせて頂き、感無量です。さて、今年度ですが引き続き同じ学年を受け持ち、再度担任という大役を賜りました。学校の色は最高学年に表れます。中学校だけでなく小学校もあるステパノでは中学三年生が持つ役割がとても重大です。そう考えると自分にできるだろうかと不安になることもあります。あくまでも主役は生徒です。燦然と輝くみんなに当たるスポットライト、また暗い空間のなかに一筋の光で行く先を導くような懐中電灯、思い悩んだときふと見上げた夜空を照らす月明り。様々な形を変え、方法を変え光はみんなのもとにあります。そんな光のような温かい存在を目指します。安心して学校生活を送れるように尽力いたしますので何卒よろしくお願いいたします。多くの出会いを大切に、春の穏やかな光の下で新年度をスタートさせて頂いてだけること、感謝の念に堪えません。

スクールカウンセラー 井島 素子

唐突ですが、私は「ハリーポッター」が好きです。ダンブルドア校長先生がハリーに言った言葉の中で最も印象に残っているのは「自分が本当に何者かを示すのは、持っている能力ではなく、自分がどのような選択をするかということ」というものです。

最近私は、言葉のか弱さ、心許なさを感じることがいくつかあり、言葉よりも行動の方が本当のその人らしさを表すと、考えています。

コミュニケーションという話をすることを優先に捉えがちですが、内容の理解度ややりとりの質は、言葉を発した側よりも受け取り手の方に委ねられています。たとえどんなに言葉尽くしても、わかってもらえなかったかどうかは受取り手次第です。

スクールカウンセラーにとつて「ことば」はとても大事な道具のひとつです。なので「言えばわかってくれるはず」「話したように正しく相手に伝わった」と過信せずに、ひとつひとつの言葉を大切に紡ぎながら発するしかないと思います。同時に、相手と同じ思いで受け取れるよう、わかろうとするよき聴き手になりたいです。さらには、それでも私にその能力が足りない時は、自分はどうのような選択をするでしょう。

多様化が叫ばれる時代

非常勤講師 宇野 浩行

昭和が終わりを告げた頃に、私の社会人生活がスタートしました。バブルの熱、まだ冷めやらぬ頃で、銀行のマナーゲームなどシステム開発に従事しました。多忙を極める中、4年間のエンジニア生活から教職へと転職しました。不景気の昨今、想像すら及ばない転職がブームの時代でもありました。転職後は主に首都圏の私立中高で数学科教員として従事しました。

文科省制定のカリキュラムは大体十年毎の改定となりますが、平成の改定で情報科が新設されて以降、情報科教員としても従事する様になりました。そして令和の改定で情報が受験科目となり、その影響で技術科教員としても従事する様になりました。昭和の時代は転職ブームに限った事ではないのですが、世の中は画一的で、一つの方向にしか、目が向いてませんでした。でも、今、そしてこれから益々多様化が浸透して行くと思います。

これまで従事してきた学校では、受験一辺倒が主流でしたが、聖ステパノの生徒さんには好きと思えて熱中し多彩な「力」を身に付けて欲しいとも思います。

プロテスタントの学校は、今回で5度目の奉職です。うれしい、率直な気持ちです。聖ステパノに熱中し奉職して参ります。

時を大切に

小学校教務主任 上戸 基夫

何事にも時があり
天の下の出来事にはすべて定められた時がある。
コヘレトの言葉三章一節

コヘレトの言葉三章一節

桜の開花宣言が聞かれたかと思いきや、実際は、例年よりも開花が遅くなっています。そのお陰とは言えませんが、ちょうど入学式の頃に桜の見ごろが訪れそうです。ご存知のように、桜が開花するには冬の寒さによる休眠打破。そしてその後、二月一日からの毎日の平均気温の合計が四百度を超えると開花となります。しかしながら、今年はこの気温を越えても、なかなか桜が咲かなかったように、桜の様な小さな花が咲く時まで、神様にしか分からないことがたくさんあります。

とはいっても、やはり桜が咲くと嬉しくなり心が温かくなります。そして、この時期になると新しい制服を身にまとった新入生が学校の門をくぐります。今年度は小学校一年生の担任として、大切な子ども達と一緒に生活することになります。小学校に入学する嬉しさ、新しい場所での不安感をいっぱい抱えながら登校してくるでしょう。一人ひとりの「時」を大切に、不安を喜びと希望に変えられるよう精一杯取り組みたいと思います。

新年度の抱負

庶務 小出 初美

新年は、地震に飛行機事故と災難が続き、心配なスタートになりました。少しずつ落ち着きを取り戻し、私も新しい気持ちでがんばろうと思います。

去年は、子どもたちが中心となって開催されるステパノまつり、祭前祭に参加させていただいたのですが、手作りの焼きそば、たこやき、クレープ、演劇など、とてもすばらしく、たくさんの方の成長を感じられ、うれしく思いました。

聖ステパノ学園で働かせて頂くことになって五年が経ちましたが、この五年間を振り返ってみると、たくさんの方の活躍を見る事ができ、うれしく思っています。

今年も、元気で優しい子どもたちが、たくさん活躍することを楽しみに、見守りながら皆さんと過ごしていきたいと思っております。
一年間、よろしくお願ひします。



よろしくお願いいたします

教諭 河野 達

聖ステパノ学園の皆さん、はじめまして。今年度から聖ステパノ学園にお世話になる「河野 達（こうの いたる）」と申します。

私はこの3月まで中高一貫の男子校に国語科教員として約20年間勤めてきました。男子校の教員として働く毎日はとても楽しかったのですが、小学校の教員になりたいという長年の夢があきらめきれず、40歳を半ばにしてチャレンジをさせていただきました。当然、周りからは反対する声も多かったのですが、それ以上に背中を押してくれる家族や仲間がいてくれたおかげで、こうやって聖ステパノ学園からご縁をいただくことができました。

私1人の力はとても小さく、今までも周りに信頼できる家族や仲間がいてくれたからこそいろいろなことを乗り越えることができました。今年はこの聖ステパノ学園でいろいろな方に出会い、素敵な関係を築いていけるようがんばっていききたいと思えます。どうぞ、よろしくお願いいたします。



2024年度の抱負

教諭 根田 栄子

今年度は久しぶりに中学校所属となりました。また小学校の音楽専科も担当させていただけることで、小1〜中3まで全員と関わることができる、嬉しい一年となりそうです。中学校所属ですがクラスの枠は無く、全てのクラスに関わって欲しい…との事なので、今から楽しみでわくわくしています！

小学校の音楽は今年も楽しく!!授業をしていきたいと思っています。中学校の授業はテストもあるのでどうしても座学が増えてしまいがちですが、音の無い学習にならないよう、音楽科らしく豊かな音に満ちた学習ができるようにしていきたいと思っています。

昨年度はこの『抱負』で「オルガンの練習を頑張る」と言いながら、全く練習できませんでした。反省して、今年こそはきちんと練習して臨みたいと思います！

長期目標の書道の方は…8〜9割方、毎日筆を持ち練習を継続しています。師範はまだ無理ですが、1年で準初段まで昇段できました。所属する会派では、初段になれば初等師範となり小学生を教えることができるので、あと一歩！こちらも頑張っていきたいと思えます。

今年度もよろしくお願い致します。

はじめまして

教諭 近藤 穂佳

皆さま、はじめまして。今年度から聖ステパノ学園小学校で働かせていただくこととなりました近藤穂佳と申します。昨年度、聖ステパノ学園小学校で教育実習を行わせていただき、ご縁があり聖ステパノ学園の一員となりました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、皆さまは小学校に通っていた時のことを覚えていますか。楽しかったことや悲しかったこと、きっと人それぞれ沢山の記憶に残っていることがあるかと思えます。反対に、あまり記憶に残っていることが鮮明に思い出せない方もいると思います。私も思い出せることは少ないですが、小学校での学びや思い出は今の自分を形成しているように思えます。聖ステパノ学園の子どもたちにも、学校で多くのことを学び、友だちと全力で遊び、時にはぶつかり、先生と色々なお話をし、そして大人になった時少しでも学園で学び得たことや経験したことが糧となっていたら嬉しいです。そのために、全力で子どもたちと向き合い、一緒に一喜一憂し、一日一日を大切に過ごしたいと思えます。

未熟者ではありますが、未永くよろしくお願いいたします。

原点回帰

中学校教務副主任 咲間 直人

「あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。しかし、必要なことはただ一つだけである」

ルカによる福音書 第10章41〜42節

昨年度は私事ながら永年勤続として表彰をしていたきました。ふと初年度のことを思い出すと、任されることも多くなり、当時とは違った意味での忙しさを感じると共に様々な事柄に心を乱している自分がいることにも気が付きました。そんな時に一番の活力となつたのが、子ども達の存在です。今更ながら、教員としてこの聖ステパノ学園に奉職する機会が神様から与えられ、そこに集う子ども達と向き合えることができる、こんな幸せなこととはありません。

今年度も中学二年生のクラスを担当させていただきます。日々の職務一つひとつが子ども達の成長に関わる行いであることを再認識し、自分がこの場に呼ばれた使命に立ち返りつつ、自らを律して過ごす一年にしたいと思います。何よりも、誰のためにこの仕事をしているのかということを中心に置き、子ども達一人ひとりの顔を思い出しながら、少しでも主の栄光をあらわすことができるような働きを心掛けてまいります。今年度もどうぞよろしくお願いたします。

新年度になりました

非常勤講師 笹尾 和子

新年度も神さまに守られて迎えることが出来て感謝しています。「今までより学校が好き」「音楽が好き」になる1年になりますように努力します。学年が上がるごとに出来ることが増えて喜びを多く味わうと思います。同時に苦手意識を感じてしまったり、不安になる時もありそうです。

「上手に出来た」「成長している」と思う時と「まだできない、もう少し時間をかけよう」「どうやったら上達するかな」と思うときがあるとあります。一度立ち止まって自分の目標を知るきっかけになっています。目標に向かって時すぐ近くに神さまがいてくださると信じてお祈りしましょう。神さまが力をくださって勇気が湧いてきます。笑顔になれます。頑張れる自分に戻ります。

大人になる生活を始めるスタート地点へ近づくときにステパノ学園の生活が役に立つ力になっていくと信じています。私も祈って頑張ります。よろしくお願いたします。



「許す」力

教諭 澤邊 嵩介

今年度は、新2年生を持ちあがり担任させて頂くことになりました。昨年度の1年間で皆大きく成長しましたが、今度は2年生としてどのように育っていくか、今から楽しみです。子ども達と1年間、楽しみます！

昨年度を振り返ってみると、常に1年生と生活を共にした1年間でした。授業は勿論の事、朝礼拝や休み時間、給食や掃除など……1年生にとっては新しいことばかり。私自身も、子ども達と一緒に聖ステパノ学園の学校生活について改めて一緒に学ぶような気持ちで生活していました。

1年生も色々な面で成長していますが、特に「許す」という力が大きく育ってきていることを感じています。何かトラブルや失敗があった時、相手が真摯に謝ってくれたらすぐに「いいよ」「次は気を付けてね」と伝えたり、友達とケンカした後、仲直りをした子に話を聞くと、「僕も気持ちわかるから許してあげたんだ」と言っていたり……子どものやりとりから、周りとの良い関係を築いていく上で「許す」ことは、時には難しいときもあれども、とても大切なことなのだと考えました。

今年度は、この「許す」ということを日頃のやりとりの中で意識して、子ども達に見本を示せるように生活していきたいと思えます。

今年も桜の季節がやってきました。毎年桜が咲く頃は、春の暖かさに喜びつつも、まだ肌寒い時も多いので、体調を崩さないようにと気を引き締めます。新年度の新しい環境にもどきどきしながら緊張感をもって過ごしている、1か月ほどでゴールデンウィークのまとまったお休みが訪れ、そこでやつとふつと体も心も休めるのです。そのためか、ゴールデンウィーク明けは身体的にも精神的にも、元の生活に戻るの少ししんどいなと感じることも…。

子ども達や保護者の方々、教職員の中にもそのように感じる人は少なくないのではないのでしょうか。実際に保健室は、意外と4月は来室者は少なく、5月のゴールデンウィーク明けにどつと増える印象です。

私も含め、多くの人が経験するこの現象は、いわば自然なことであると思います。このようないわゆる起るであろうとあらかじめ知っておき、それぞれがこれを受けとめて、心身をいたわってあげることができたらいいなと思います。

これから1年間、まずは始めのこの春を乗り越えて、みんなで元気に過ごしていくことが私の願いです。現在は育休中ですが、自宅から祈っています。

私は小学生の頃から、人と関わるのが苦手なで、友達と遊ぶより家で独りである方が楽でした。理由は、他人の目を気にしすぎて、「こう言ったら、相手はどう思うか。もし、誤解されたら…」等と考えているうちに、言葉が発することができなくなってしまう、その場の空気が重くなってしまうからです。

しかしイエス様は、「わたしの恵みは、あなたに十分である。というの、わたしの力は、弱さのうちに完全に現われるからである。」

また別の箇所、「わたしの目にはあなたは高価で尊い。」と語ってくださいています。不可能が何一つない御方が無に等しい私に目を留めてくださる、イエス様の愛の深さ、広さを改めて覚え、心から感謝いたします。

イエス様はどんな時でも必ず祈りに応えてくださいます。ただ、私ができるように行動するかも見ておられ、私自身が努力もせず待っているだけでは、何の変化も成長も望めません。一歩踏み出す時、道が開かれるのです。

今年度は、いつも共にいてくださる主に全てを委ねて、自分自身の弱さに負けずにコミュニケーション能力を高め、仕事のスピードアップを目指していけたらと思っております。

今年も新年度が始まりました。今年度は小学五年生の担任となりました。一年間、一生懸命そして真剣に子どもたちと向き合い保護者の方々と共に過ごしていきます。

学園として私自身の働きとしては、聖ステパノ学園の使命と行いを再確認することです。支援教育委員会の長として、学校の教育方針に則り子どもたちの状態、状況を考慮し、将来の展望などをふまえた上での聖ステパノ学園ならではの支援と合理的配慮の道筋を教職員・保護者の方と一緒に考えて建設的に進めていきます。何気ない支援を大切に考えていきますが、私たち教職員も保護者の方も、子どもたちに支援できる場所と範囲と時間は限られています。過度な支援は子どもたちの成長を妨げて社会に順応できない人を育ててしまうと感じています。ステパノでの生活の中で、様々な経験を通して、社会の一員として尊重され、自分も尊重できる強い気持ちや育まなければなりません。子ども自身が自分の力で行き進み、成長するためには、心配なこともあるとは思いますが、先ず子どもを信じ、やり過ぎない支援を心がけ、手放すところは手放す、見守るところは見守る覚悟で臨んでいくことが子どもたちの成長に繋がると信じています。

新年度の抱負

中学校教頭 田中 圭史

今年度は新入生17名を迎え入れ、51名のスタートとなります。

昨年、一年間通して行事や生徒会の活動などを一緒にしながら成長を感じることができました。今年はその土台の上に積みあがっていくように、生徒の活動をサポートしていきたいと考えています。個人の活動もさることながら、主体的な生徒同士の活動が重要になっていきます。新しいことだったり、初めての経験だったりしても、繰り返しながら身につけていくことができるようになっていきます。そのためにも様々な機会をとらえたいと思っています。

また、私たち教員も学んでいかなければなりません。研修を通してアップデートし、教科指導、生徒指導に生かしていきたいと思えます。中学校として教員間の情報を共有し、全員が全クラスの担任である意識をもって、かかわっていきたくと思っています。

一年後に成長した子どもたちの姿を想像しながら、彼ら一人ひとりが大きく育っていく一年となるように励んでまいります。

どうぞよろしくお願いたします。



「New me」

教諭 露崎 志苑

ご入学、ご進級おめでとうございます。今年度は、中学二年生の担任を務めることとなりました、中学校英語科の露崎志苑（つゆざきしおん）と申します。

私は、中高一貫校に4年間、企業に2年間勤めたのち、本校に赴任しました。今年度でステパノでの教員生活は3年目となります。

さて、私の新年度の抱負は「自分自身をアップデート」することです。教師としての経験を積んでくると、少しずつ日々の生徒との関わりや、教科の指導、仕事の仕方、コミュニケーションの取り方、さまざまなものに対する考え方に、これまで積み重ねてきた「慣れ」がでてきます。良いものもあれば、点検せずに使い古しているものもあるだろうと思います。それはバージョンアップせずにそのまま使っているOSや、アップデートをしていないアプリのようなものかもしれません。

今年度は読書や学び、また、日々経験することを省察することを通して、そのような更新していない自分の価値観の総点検をしたいと思っています。

英語には新年に新たな自分を目指す表現として「New year, new me」というフレーズがあります。今年度は自分をアップデートし、New meになることを目指したいと思っています。

2024年度の抱負

養護教諭 土橋 久美子

保健室での対応は何パターンもあるというわけではありません。出血をとまなう怪我であれば、汚れを洗い流して必要に応じてガーゼ等で保護をしますし、打撲やねんざ等であれば冷やして圧迫や固定などをし、体調不良もそれぞれに応じて保健室で休養したり、耐えられる程度であれば教室へ戻ってもらったり、といった風です。なにかあったかな、という時は話してくれるのを待つようにし、その子の心の準備ができないうちに無理に聞き出すことがないように気をつけています。

私なりに一貫性のある対応をしているつもりですが、程度が違えば処置に違いも出てきます。間違ったことでなくても、子どもによって処置が違えば子どもには「どうしてだろう？」という気持ちが残るのは想像に難くありません。

そこで、今年度は子どもたちが納得できる処置と一貫性をもった指導を行うとともに、必要があればその理由も説明できるようにしていこうと思います。昨日と今日で言動が違ったり、子どもによって対応が変わることなく、安心して来室できる保健室を心がけ、子どもたちの学びをサポートしていきたいと思っています。今年度も一年間、どうぞよろしくお願いたします。

歴史あるこの聖ステパノ学園に勤めて、毎

日子供たちから元気をもらっていることを嬉しく思います。そんな私が最近考えることがあります。それは、澤田美喜先生は今のエリザベス・サンダース・ホームと聖ステパノ学園のことをどう思っているのだろうかということです。ここに来るまで正直ホームと学園については恥ずかしながら全く知りませんでした。しかし、前学園長の小川先生から沢山のことを教わりました。そのことは今でも私の宝です。私が思う聖ステパノ学園は、勉強よりも学校が楽しいと思えることが大切だと思っています。人生は勉強して良い大学、良い会社に入るのもそれはそれで良いと思います。私はそれよりも良い人に出会うことが重要だと思えます。そのことで、私の人生が百八十度変わったので、少しずつ恩を返していこうと思ひ努めて参ります。古き良き時代を残しつつ、新しい時代に何ができるか、出来ないではなくて、出来るにはどうするかを考えていきたいと思ひます。時代と共に色々なことが変わりますが、根本的なことは変わりません。

また、この季節は出会いと別れがあります。私自身も色々な人と関わって、良いところを吸収し、成長したいと思ひています。今年度も宜しくお願い致します。

昨年、下校指導をしていると偶然教え子に会いました。もう二人のお子さんのお母さんで、ちようど送り迎えをしている所でした。教えていたのは十年以上前の話ですが、色々な事を思い出してとても懐かしく思いました。当時の私は教師になっても懐かしく思いました。呼ばれる事に慣れていなかったため、大変な日々を過ごしていました。そして、私が教師になった時のことを思い出しました。

一方、新中学1年生が「聖ステパノ学園での中学校生活が楽しみです。」と話をしてくれました。本当に楽しみで、もう宿題は終わっているそうです。聖ステパノ学園中学校に期待してくれていることにとっても嬉しく思ひます。そして、その教員として期待に応えていかなければいけないと、気が引き締まりました。

私が教師になったきっかけは「数学の面白さを伝えたい。」と考えたからです。数学の学習に苦しんでいる生徒を見て、自分が手助けできるのではないかと思ひました。改めて初心を忘れずこの目標に向けて、これからも活動していきたいです。



ご入学、ご進級おめでとうございます。プロ野球の春のキャンプ情報が駆け巡る季節、今年はドジャースに移籍した大谷選手の話で持ちきりでした。私が小学生だったころは、長嶋選手や王選手の全盛期で巨人の帽子をかぶって毎日野球をして遊んでいました。必然的に中学校でも野球部に入りました。当時の野球人口はとも多く、新入生だけでも百人以上の部員がいました。その中で、まあまあ野球ができる自分では思い試合に出るため、レギュラーを勝ち取るために毎日一生懸命練習しました。3年間毎日のように練習に励み自分の目標を持って泥だらけになりました。しかし、結果は一度もレギュラーになれませんでした。

この経験は、誰からも評価されるようなことでもないけれど自分を信じ3年間がんばったことだけが残りました。また自分の好きなことに対して目標を持ち、がんばったという自信もこの時に育ったように思ひます。

皆さんも何か好きなことや熱中できることを一つでも見つけ、自分を信じてやり続ける一年にしてください。時にくじけそうになつた時は、言葉に出して奮い立たせ続けるようがんばりましょう。今年度もよろしくお願ひいたします。

今年度の抱負

中学校教務主任 二椏木 健太

今年度は中学校1年生の担任をさせていただくことになりました。4月から新たな気持ちで新入生を迎えることができることは大きな楽しみです。そこで今年度は中学校1年生の担任ということもあり、「1」ということにこだわっていききたいと思います。

当たり前のことですが、一人ひとりを大切にしていくことを大事にしていきたいです。中学校に入学した際に不安や心配なことが少なからず、あると思います。それを感じている子どもたちの声に耳を傾け、寄り添っていくこと。そして中学校1年生が中学校での生活に上手く馴染んでいけるように一つ一つの事を丁寧に指導することを大事にしていきたいです。

そして、中学校1年生が毎日の生活の中のやりとりや行事を通して、協力し合いながらお互いのことを知り、認め合い、17人全員が1つのクラスとしてまとまることのできるようにすることを目指して、日々、子どもたちと共に成長していききたいです。



2024年の抱負

非常勤講師 能條 貴大

2024年になりました。毎年、新年度のはじめに「今年の抱負」を立てるのですが、漠然としていたり、抽象的な目標だったりすると、一年を通して実行できているか疑問に思うことがあります。日々の忙しさにかまけてだんだんと目標がぼやけ、夏頃には抱負を忘れてしまっています。

それはあまり良いことではない。そこで、一年を振り返って見たときに、いつの間にか達成できているような抱負を立てようと思いました。2023年を振り返ってみると、ミュージカルや合唱団の伴奏と、コロナ禍以降控えていた仕事に携わる事が増えました。沢山の演者と一緒に音楽を作る一体感は、個人での演奏会や楽器の伴奏とは別の達成感をもたらしてくれました。

そこで、2024年は仕事の一つ一つに達成感を感じることを抱負にしたいと思います。2024年を振り返った時に、良い指導、良い演奏が出来たと感じられるように、充実した一年を送りたいと思います。



新年度の抱負

小学校教頭 長谷川 誠子

3月に小学校6年生と中学校3年生の卒業礼拝式が行われました。両方の式に出席しましたが、6年生と中学3年生の大きな成長に驚かされました。特に小学生の頃から知っている子ども達の姿からは、これまでの学校での様々な学びや人との関わりの積み重ねが今の成長に繋がっていることが実感され、学校という集団の中での学びの力を感じることが出来ました。

子ども達は日々、成長していきます。子どもによつて変化は様々ですが、どの子どももしっかりと伸びていきます。その成長を助けるためには、やはり、良い所を認め、褒めてあげることが大切です。人は意識していないと、どちらかというと出来ていない所や良くない所に目がいきがちです。しかし、良くない行動ではなく、良い行動を褒めることで子ども達の意識は変わります。1年生の教室で、話をしっかり聞いている子を褒めてあげると、聞いていなかった子は注意しなくとも「僕も出来る」としっかりと目を向けることができます。

今年度は子ども達の良い所や成長した所にしっかりと目をとめ、認められる喜びを感じられるような対応をしていきたいと思えます。新しい1年も神様のお導きによってスタート出来ますことを心から感謝します。

「心を動かす」

教諭 林 健太郎

ご入学、ご進級おめでとうございます。

今年度、小学校四年生の担任を務めさせていただきます。林健太郎です。

さて、私の新年度の抱負は、「心が動くようにする。」にしようと思います。私達は毎日、意図するにせよしていないにせよ、多くのことを選択、決定しています。そこで今年度は、どちらを選んだ時に心が動くかということを考えていこうと思います。当たり前ですが、誰でも失敗をしたり、損をしたりしたくないものです。失敗したくないと思いつつながら、安全だと思われる方を選びがちです。私も、失敗がしたいわけではありません。

しかし、失敗を恐れるあまりその先にある大きな変化、チャンスを逃しがちなのではないかと思っています。

どちらにするか迷った時、勿論色々考えてよい方を選ぶとうとします。ただ、どちらを選ぶか迷う時、心が動く方を選ぶとうとします。子どもたちも、実は保守的な考え方をすることが多いような気がします。あえて、心が動くような方を選んでいった方が、成長につながるのではないかと思います。

これからの一年間、子どもたちがどのような成長していくか、とても楽しみです。新年度が神様の見守りによって素晴らしいものとなりますように。

新年度の抱負

学校図書館司書 平野 朋子

ご入学、ご進級おめでとうございます。

小中学校の図書室は、体育館棟二階の音楽室の隣にあります。中学校のアネックスにも図書コーナーを設けて、昼休みに貸し出しをしています。

図書室の本は、過去から現在、未来へと引き継いでいくものです。私達はみんなのできることをして、本の寿命を延ばすために、

- ・ 本を触る時は清潔な手で
 - ・ 本に書き込みやページを折ったりしない
 - ・ 本を破らない
 - ・ 本が傷んでいる場合は先生に教える
 - ・ 本棚から本を取り出す時は、片手で隣の本をおさえて真ん中あたりを親指と人差し指でつまむ(両手を使う)
- これらのことを気をつけたいと思います。

学校図書館の役割は、ひとりひとりが自分で判断できる能力を備えるために、情報と知識を提供することです。本を読むことで今日を生きる助けにもなるし、面白く生きることができます。

図書室には、みんなが気づいていない素敵な本があることを伝え、心の安らぎを得る場となるように、今年度も活動していきたいと思えます。

今年度も、どうぞよろしくお願い致します。

「竹の強さの秘訣は節」

教諭 藤原 佳紀

ご入学、ご進級おめでとうございます。

新学期となり新たな気持ちでスタートです。期待や高揚感、そして不安の入り交じったこの季節が私はとても好きです。どんなことでも、とても新鮮な気持ちでまるで輝いてみえるのが不思議です。

今年の私の抱負は、子どもたちの「今年は、〇〇をがんばろう。」と思うその気持ちを大切にしていこうことです。

竹という植物は高さ比べて非常に細い植物です。通常の植物であれば、すぐに折れてしましますがとても丈夫。そしてとてもしなやかです。成長率は雨後の筍ともよばれるように、一日に1mも伸びることがあるそうです。そうした竹の強さの秘訣は「節」がきちんとあることだそうです。節があることで、折れずに戻ってくるしなやかさが生まれます。人も同じであると思います。目標をもって活動し、節目では反省をして、できたことに自信をもつことで、さらに次の目標へ向かう。たとえ失敗をしても、それまでの自分に自信があれば再び立ち向かうことができます。

昨年度は創立七十年という節目でした。新たな学校のスタートの年を、子どもたちと共に挑戦し、成長したいと思えます。

新年度の抱負

庶務 松崎 由香

ご入学、ご進級おめでとうございます。

また新しい気持ちでのスタートです。毎年思うことですが、この年度初めの抱負は自分を見つめ直す大事な機会の一つです。一年を振り返り、今年はどうな一年に進めていかうかと考える良い機会になっています。

昨年は学校行事も通常に戻り、生徒たちの笑顔も沢山見ることができました。何よりも一番うれしいことです。マスク越しと違い、やっぱり表情が分かるっていいですね。私も沢山元気をもらいました。生徒の皆さんと直接話す機会は少ないですが、中には私の事を知ってくれている子供たちもいるのです(笑)小学生だと、下の職員室で仕事をしているので、何となく顔がわかるのかな。時々、クラスに行く機会もあるので、その時に少しお話ししたりします。

今年の一歩の目標は色々な人とのコミュニケーション。些細な事でも意思疎通は大事な事です。まずは、挨拶から、沢山の人とお話してできると嬉しいです。ステパノっ子は、色々な事に興味を持ち、元気いっぱいなのが素敵などころ。小学校一年生から中学卒業まで九年間の成長は、本当に驚かされます。

私も負けないように頑張りますので、皆さんよろしくお願ひいたします。

はじめまして

教諭 松澤 玲奈

みなさん、はじめまして。今年度より中学校、そして社会科を担当させて頂く、松澤玲奈です。

大学を卒業し、昨年度は、公立の中学校に勤務しておりましたが、ご縁をいただき、ステパノ学園に出会うことができました。私自身中学校・高校は毎日礼拝のある学校に通っておりまして。そのため、同じように礼拝から始まるステパノ学園に勤務できること、とても嬉しく思っております。

教員としては二年目であり、学ぶことが多い日々であります。子どもたちと「一緒に学ぶ」一年にしていきたいと考えております。子どもたちは、学校という学びの場で、日々新しい学びを得て、自分の力にしていきたい。その姿を見守りつつ、私自身も、教育への学び、教科への学びを深めていきたいと考えております。昨年度は、子どもたちから新たな視点や考え方をもらう場面も多くありました。子どもたちと一緒に新しいことを発見し、学ぶ。その道しるべを少し開いてあげることのできる教員となれるよう、一年間、努力していきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

新年度の抱負

非常勤講師 松野 瑞樹

私は、五月末にステパノ学園に来て1年になります。生徒の皆さんと交流するのはとても元気がもらえます。しかし、まだまだわからないことも多く、日々皆さんのことを理解していけるよう努力を続けたいと思ひます。

そんな私の新年度の目標は、授業をよりわかりやすく、楽しくすることです。

教職に就いて約2年、全員が同じように学校に通い、学び、知識を身につけているとは限らないと気が付きました。元から美術が得意な生徒、苦手な生徒、苦手と一言で言っても、色々違った理由で苦手意識を持っている生徒がいるのだと気が付きました。

新年度からは基礎の基礎も授業内で復習して、全員にわかりやすいように、得意な生徒も改めて基礎を学ぶことで表現の幅が広がるような授業を行いたいと思ひます。

個人的には最近、小さな紙にほぼ毎日絵を描いています。私は絵の分野が専門ではなかったのですが、この習慣を身につけて私自身も表現について学習していこうと思ひます。また、私は陶芸とガラス分野を学生時代にやっていました。しかしブランクがあるため、自身の制作活動を再開して皆さんが授業内で制作できるように準備を進めていききたいと思ひています。

新年度にあたって

非常勤講師 山澄 智英

ご入学、ご進級おめでとうございます。

新年度を迎えてやる気に満ちた日々を過ごしていることでしょう。日頃、だれかが何かに取り組むときの「スイツチが入った。」という声を耳にしたことがあると思いますが、何かがそのスイツチを押ししているのでしょうか。

書を学ぶ必需品である筆・墨・硯・紙を「文房四宝」と言い、昔から特に大切なものとされてきました。実用品ばかりでなく、美術的にも価値のあるものが数多く残っています。残念ながら目立たなくても毛筆書字に欠かすことのできない文鎮は含まれていません。

昨年度の五年生の授業で、半紙に文鎮を置いたときに「よし。」とつぶやいた人がいました。半紙を下敷きの上に置いたとき、筆に墨をつけたときなど、だれにでも気持ちを高める大切なことがあると思います。その人にとって文鎮を半紙に置くことだったのです。

各教科の学習や諸活動の中で、気持ちの高め方を見つめ直してみましよう。気づいていたように気づいていなかった何かが見つかり、大きな力になるかもしれません。

今年度もひとりひとりの書写力を高めるために尽力して参ります。よろしくお願い申し上げます。

新年度の抱負

教諭 和田 好江

春は別れと出発が切り替わる季節。期待と不安でいっぱいの子も達との一年が始まります。それぞれ個性豊かな子ども達と先生方と共に、明るくけじめのある、楽しい学校生活を送れるように、子ども達を受け止め励ますことを常に心がけたいです。

長く小学校の体育科を担当させていただき、運動している時の子ども達の笑顔や躍動感あふれた姿を見てきたことが私にとっての喜びでした。そういった場面を増やすことができよう、あらゆる場での計画、実行、検証、改善を実践できるよう努め、自分自身も成長できるようにしたいと思います。

昨年度の70周年記念の際に学園の歴史映像づくりを担当させていただきました。歴史を学び未来を創る大切さを痛感しました。創立より多くの関係者の方々や先生方が築いた学園を、今を生きる私達らしく、質を高め、学園の存在意義を確認していきたいと思えます。一年間どうぞよろしくお願いいたします。



卒業制作



第62回 中学校卒業生
「森の中の教室ロッカー」

STEPHEN'S NEWS



第65回 小学校卒業生
「式文用フックスタンド」

【離任者・着任者の紹介】

○離任者

小学校教諭

佐々木 心

小学校教諭

松村 はるか

養護教諭

小野 祥子

非常勤講師（社会）

中村 紀子

○着任者

小学校教諭

河野 達

小学校教諭

近藤 穂佳

中学校教諭（社会）

松澤 玲奈

非常勤講師（技術）

宇野 浩行



中学校旧校舎に雨どいがつきました。
これで大雨が降っても安心。



中学校中庭から家庭科室に行く階段に手すりが
つきました。



新小学校2年生が植えたチューリップが
今年も綺麗に咲きました。



今年のグラウンドの桜は現段階では三分咲き。
入学礼拝式には満開になることでしょう。

募金寄付申込者ご芳名

心からの感謝を込めてお名前を掲載させていただきます。ありがとうございました。
2023（令和5）年4月1日～2024（令和6）年3月31日



■一般寄付		■創立70周年記念お祝い	
内村太郎 様	50,000円	守屋紗里 様	10,000円
花輪正浩 様	30,000円	新杵 様	10,000円
中林三平 様	30,000円	横浜中学校 様	10,000円
倉石 昇 様	40,000円	学校法人アソメント会聖ヨセフ学園 様	10,000円
新宅文雄 様	30,000円	神奈川県私立中学高等学校協会 様	20,000円
須藤三矢子 様	100,000円	神奈川県私学退職基金財団 様	20,000円
村田淳一 様	30,000円	藤吉公子 様	20,000円
藤吉公子 様	20,000円	鎌倉学園 様	10,000円
中里裕一郎 様	100,000円	学校法人日本聾話学校 様	5,000円
大磯クリスマスキャロリング委員会 様	10,000円	矢島暢行 様	10,000円
日本キリスト教団大磯教会 様	5,000円	倉石 昇 様	10,000円
■特別寄付		横浜聖アンデレ教会 様	20,000円
■ホール		学校法人平塚学園平塚学園高等学校 様	50,000円
トリオ・カフェ 様	50,000円	日本私立小学校連合会 様	10,000円
■特別寄付		学校法人横浜英和学院 様	10,000円
■体育館棟建築基金		栄光学園 様	20,000円
重松秀明 様	200,000円	相模女子大学中学部高等部 様	10,000円
立教女学院小学校 様	200,000円	藤沢聖マルコ教会 様	10,000円
土屋千絵 様	10,000円	■ステパノまつりお祝い	
倉石 昇 様	10,000円	泉脇茂太 様	10,000円
M.K 様	44,147円	■運動会お祝い	
ミネルヴァインサイト合同会社 様	100,000円	泉脇茂太 様	10,000円
咲間直人 様	20,000円	二挺木優子 様	10,000円
樋端岳明 様	20,000円	杉山 豊 様	10,000円
七重会 会長 野口篤子 様	30,000円	■クリスマスお祝い	
阿部昭一 様	10,000円	㈲ユニ電子工業 様	10,000円
守屋紗里 様	50,000円	■卒業礼拝式お祝い	
立教小学校 様	100,000円	草山広子 様	10,000円
草山広子 様	30,000円	■チャペル献金	
飯田幸子 様	30,000円	咲間直人 様	10,000円
K.K 様	10,000円	■感謝	
竹中拓馬 様	5,000円	相野谷明志、千佳 様	絵本 4冊
五十嵐正一 様	20,000円	金阿彌 勉 様	三原色カラー、紙粘土クレイ
吉田 満 様	10,000円	鈴木孝善 様	色紙、掛け軸、スクラッチ絵皿セット
大山清和 様	30,000円	井口一世 様（群馬銀行 様）	マリーゴールド 46株
M.F 様	100,000円	公益財団法人NHK交響楽団 様	グラウンド十字架
矢島暢行 様	100,000円	三浦妃良莉 様	N響コンサートチケット 22枚
下津彩香 様	100,000円	阿部昭一 様	絵本 1冊
横浜教区銚子諸聖徒教会 様	10,000円	佐野大介 様	書籍 33冊
高桑 恵 様	30,000円	オリーブの木キリスト教会 様	書籍 2冊
菅 賢一 様	100,000円	立教小学校 様	アドベントカレンダー 140冊
立教女学院藤の会奉仕委員会 様	200,000円	立教女学院小学校 様	カレンダー 100冊
立教女学院同窓会 様	100,000円	七重会 美登利会一同 様	カレンダー 100冊
			清拭用タオル 100枚

ご寄付戴いた方のご芳名を基本的に受付順で掲載しております。



本年度の保護者の活動を支えて下さるS A (ステパノ・エンジェルズ) の新役員をご紹介します。

【中学校代表 中2】

小4からステパノっ子となり、夫の転勤で1年程ブランクの後に復学しました。学校生活の中で子供の内面を成長させてくれたことが、ステパノの良さだと感じています。最近では、子供達とスイカゲームやIQゲームと一緒にやったり、アニメを観て感想を話せることが小さな楽しみです。どうぞ宜しくお願いします。

【中学校代表 中2】

中学1年からステパノ学園とご縁をいただき、先生方と生徒の皆さんのお陰で家族の笑顔が増えた一年となりました。心穏やかに豊かに成長する息子を見ることができて感謝致します。横浜の自宅から朝早く元気に通う後ろ姿を見送るのが私の宝物の時間です。皆様のお役に立てるよう務めて参りますのでよろしくお願い致します。

【書記 小2】

母がステパノ裏で生まれ育ち、幼い頃からサندانズホーム、澤田美喜さんの話を聞きながら私自身育ってまいりました。そのよう

な中、ご縁をいただき、昨年4月より息子がステパノに入学致しました。クラス委員を兼ねながら、初めての役員を務めさせていただきます。わからないことだらけでご迷惑をお掛け致しますが、宜しくお願い致します。

【書記 小2】

息子は鉄道が大好きで、子鉄&ちよつとマ鉄です。先生方やお友達のおかげで、学校に楽しく通わせて頂ける事に感謝しております。私はアートや音楽、トレッキングが大好きです。至らない点もあるかと思いますが、宜しくお願い致します。

【会計 小6】

先生方、お友達の皆様を始めとする方々に見守られ、安心して学校生活を送っております。子どもたちが健やかで心地よい学校生活を送ることができまますように、お手伝いできたらと考えております。翻訳をしております。編み物、読書が大好きです。

【会計 小6】

小学校に入学して早6年目となりました。これまで親子共々、先生方やS Aの皆様の心温まるご支援に支えられ、最終学年まで健やかに過ごすごことができました。今年度はせめてもの恩返しのため、役員を精一杯務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いします。地理と旅行が好きです。

◆保護者が担当する本紙面は、新たに(小4)と(中1)でお届けします。

【編集後記】

昨年度は、「4年ぶりに〜」というフレーズを使った見出しが多く、コロナ前のような行事を多く復活することができました。今年度も行事の様子を新メンバー一丸となつてたくさんお伝えしていきたいと思えます。(ひ)

こころ新たに、新年度を迎えました。初めてのステパノだより担当として、学園の様子を分かりやすくお伝えが出来るよう努めてまいります。(ふ)

伝統ある「ステパノだより」を担当させていただきました。たくさんの方の応援に感謝いたします。みなさんにたくさんのお話を聞かせていただければと思っています。一年間よろしくお願い致します。(こ)

今年度も続けてたよりを担当させていただきます。ページ数や発行頻度が昨年度と異なりますが、学校の様子を読んだだけで伝わるような、そんなたよりを目指してまいります。よろしくお願い致します。(り)

発行者 聖ステパノ学園小学校・中学校

校長 佐藤 紀明

〒255-0003 神奈川県中郡大磯町大磯868

TEL 0463-61-1298

FAX 0463-61-9739

<http://www.stephen-oiso.ed.jp>

二〇二四年四月九日(火) 発行第286号